

1. 調査の概要

○調査目的

- 平成19年3月に策定した「第一次能美市総合計画」に基づく各種施策について、現在の満足度や今後の重要度を把握するとともに、定住意向や地域活動への参加状況、市民と行政の協働に対する意識、中心市街地のまちづくり等についての市民意識を明らかにし、市民に開かれたより良い市政を展開していくための一助とすることを目的とします。
- 第一次能美市総合計画の策定に伴い、平成17年11月に実施した市民アンケート調査結果との比較分析を行うことにより、各種施策に対する評価の変化を把握し、今後の市政の参考とします。

○調査の概要

- 調査期間：平成19年12月10日（月）～17日（月）
- 調査対象：20歳以上の市民3,000名
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査方法：郵送による配布回収

○配布回収結果

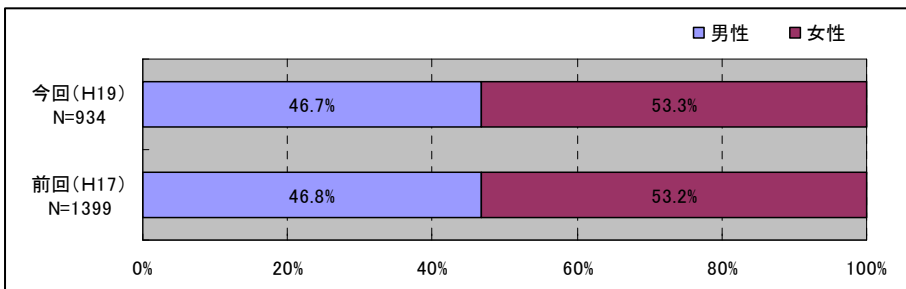
	配布数	回収数	回収率
市全体	3,000 (3,000)	966 (1,421)	32.2% (47.4%)
根上地区	1,024 (1,038)	299 (459)	29.2% (44.2%)
寺井地区	1,056 (1,026)	330 (521)	31.3% (50.8%)
辰口地区	920 (936)	310 (427)	33.7% (45.6%)
不明	—	27 (14)	—

※（ ）内の数値は平成17年調査時の配布回収結果

2. 回答者の属性

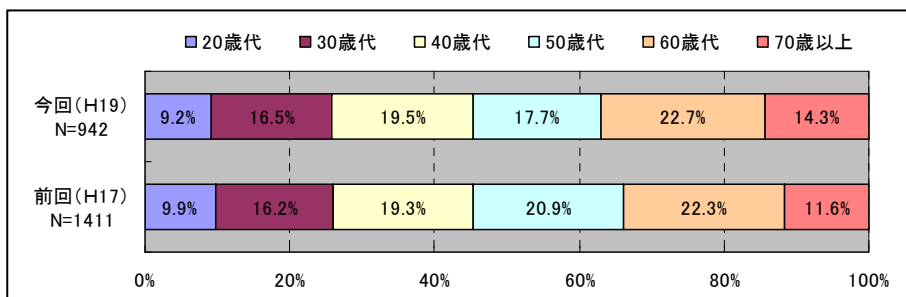
○性別

- 女性の割合がやや多くなっています。



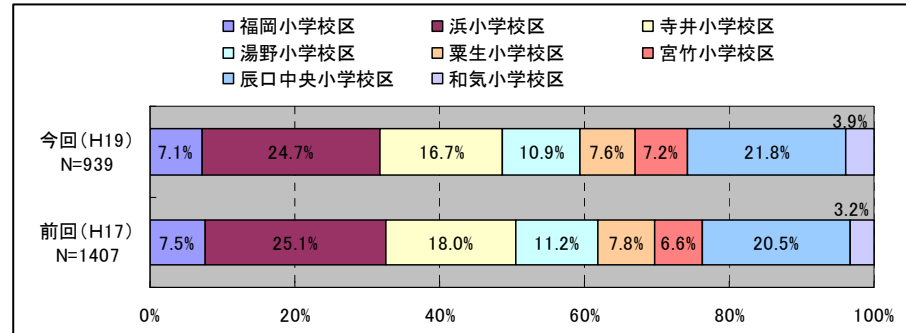
○年齢（年代）

- 前回調査と同様の年齢層の回答が得られています。



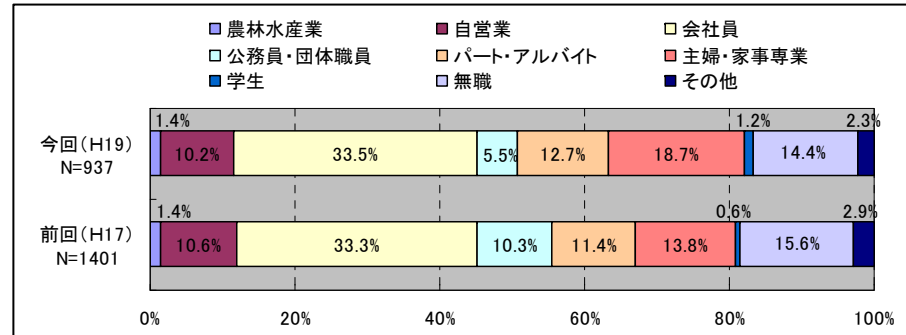
○居住地（小学校区）

- 「浜小学校区」が25%と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」22%、「寺井小学校区」17%となっています。



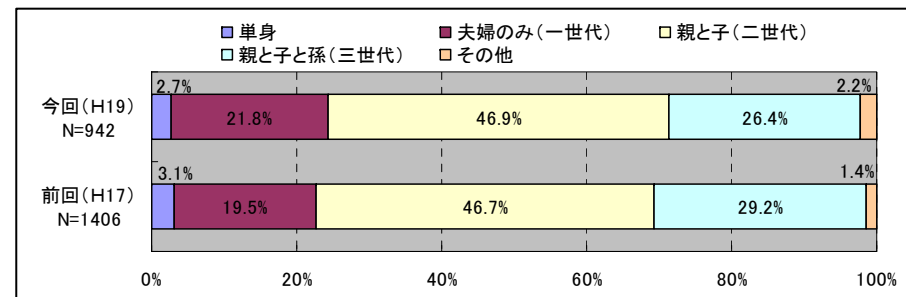
○職業

- 「会社員」が34%と最も多く、次いで「主婦・家事専業」19%、「無職」14%、「パート・アルバイト」13%となっています。



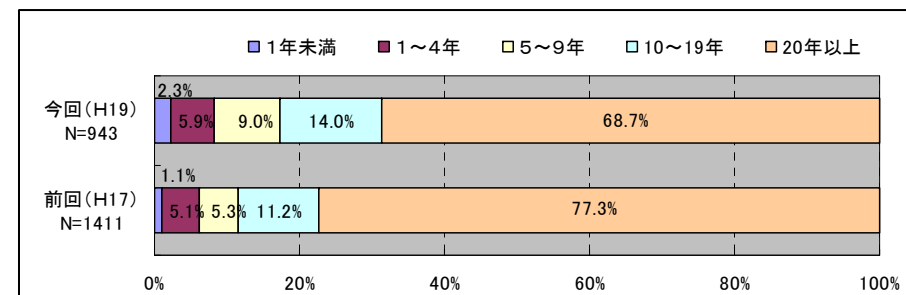
○家族構成

- 「親と子（二世帯）」が47%と最も多く、次いで「親と子と孫（三世帯）」26%、「夫婦のみ（一世帯）」22%となっています。



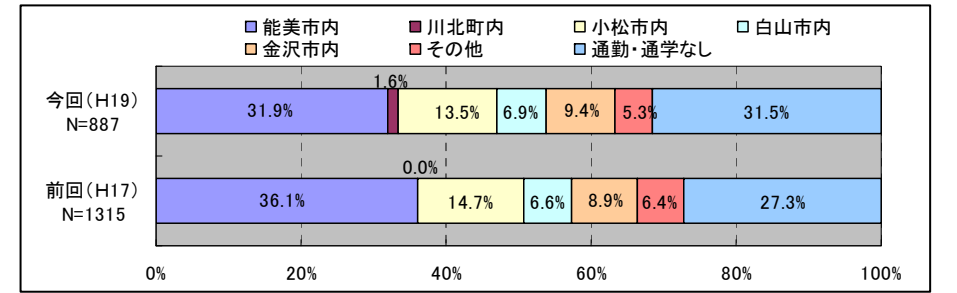
○居住年数（小学校区）

- 「20年以上」が69%と最も多く、次いで「10～19年」14%となっており、市内に10年以上居住している回答者が8割以上を占めています。



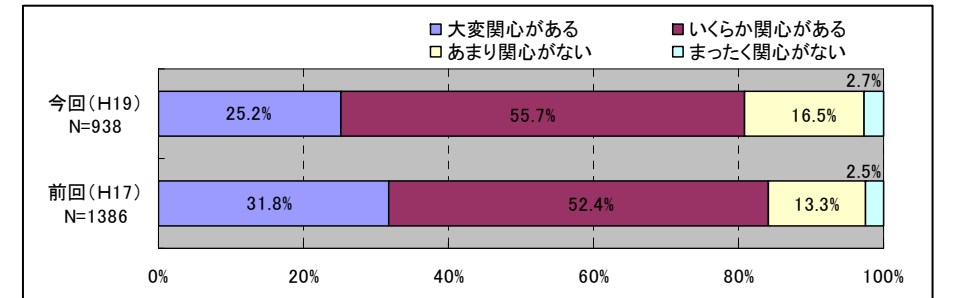
○通勤・通学先

- 「能美市内」が32%と最も多く、次いで「小松市内」14%、「金沢市内」9%となっています。一方、主婦や自営業、無職の回答者が存在していることから、「通勤・通学なし」との回答が32%を占めています。



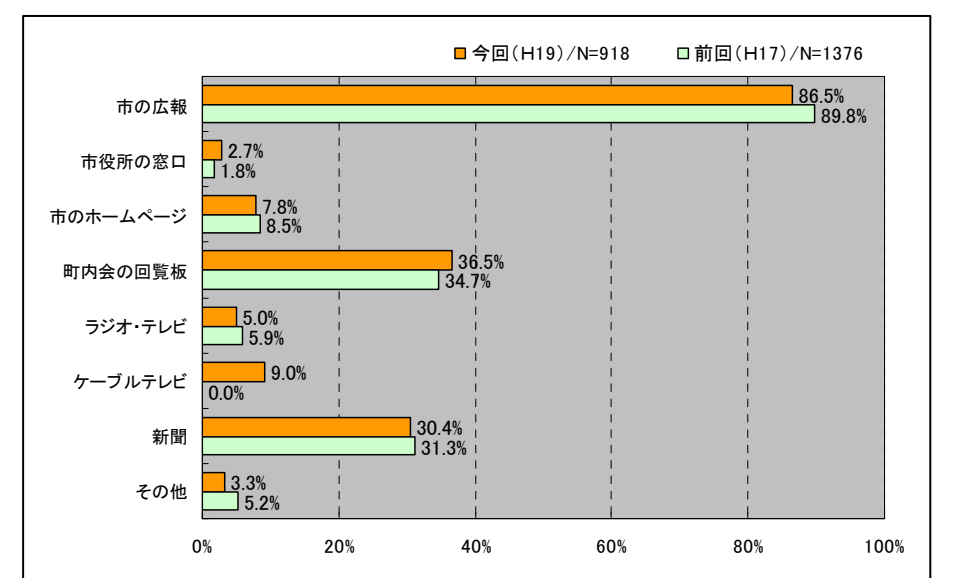
○市政への関心

- 「いくらか関心がある」が56%と最も多く、次いで「大変関心がある」25%となっており、約8割の回答者が市政に関心を持っています。



○市政情報の入手方法

- 「市の広報」が87%と最も多く、次いで「町内会の回覧板」37%、「新聞」30%となっており、「市役所の窓口」「市のホームページ」「ラジオ・テレビ」「ケーブルテレビ」は1割未満となっています。
- 年齢別にみると、20～30歳代の若年層では「市のホームページ」との回答が約2割を占めており、前回調査時の回答割合に比べて2倍に増加しています。



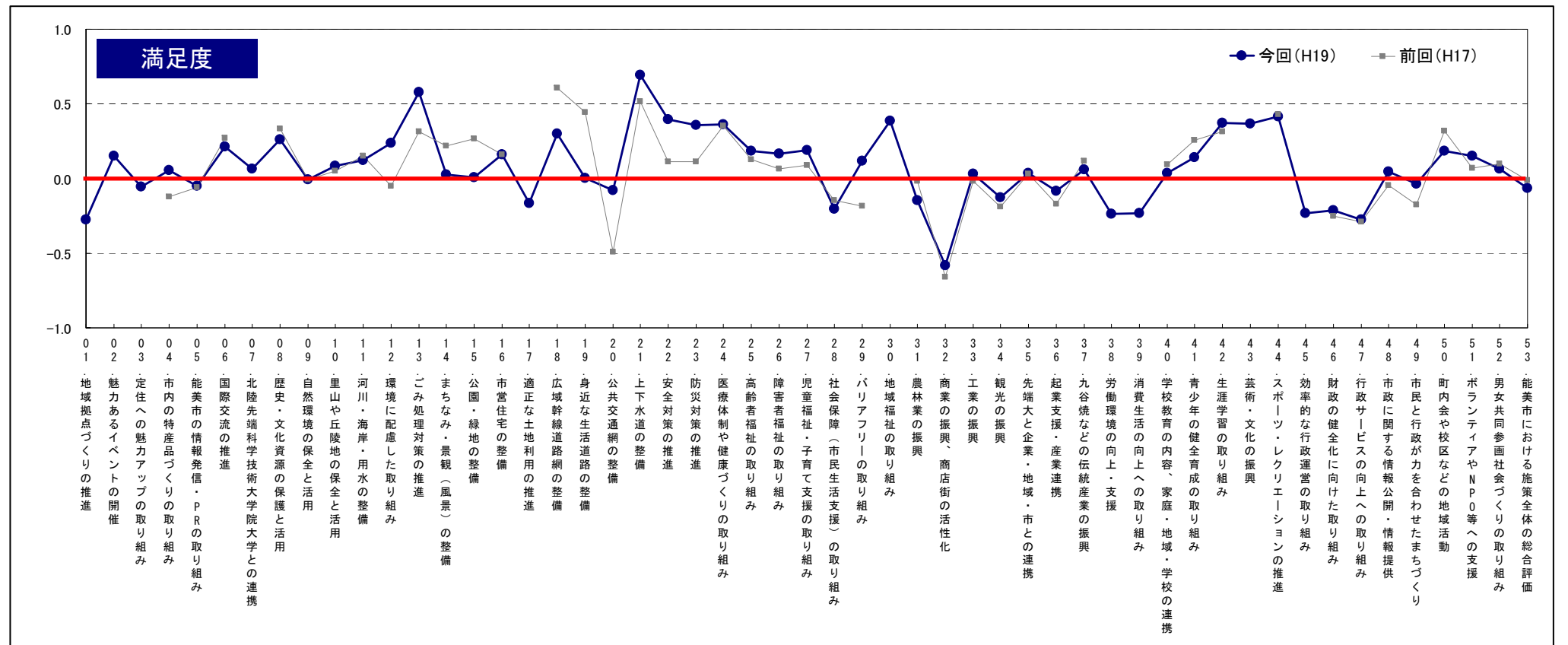
※「ケーブルテレビ」は前回調査項目なし

3. 能美市における施策の現状評価について

○満足度

- ・上下水道の整備、ごみ処理対策、スポーツ・レクリエーション等に対する満足度が高い一方、地域拠点づくりや商業振興・商店街活性化、農林業の振興、行財政関連、社会保障、労働環境、消費生活等について満足度が低くなっています。
- ・前回調査に比べて満足度が向上している主な項目は、「市内の特産品づくりの取り組み」「環境に配慮した取り組み」「ごみ処理対策」「公共交通網の整備」「上下水道の整備」「安全対策」「防災対策」「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」「バリアフリーの取り組み」「市政に関する情報公開・情報提供」「市民と行政が力を合わせたまちづくり」などが挙げられます。
- ・一方、満足度の低下がみられる項目は、「まちなみ・景観（風景）の整備」「公園・緑地の整備」「広域幹線道路網の整備」「身近な生活道路の整備」「町内会や校区などの地域活動」などが挙げられます。

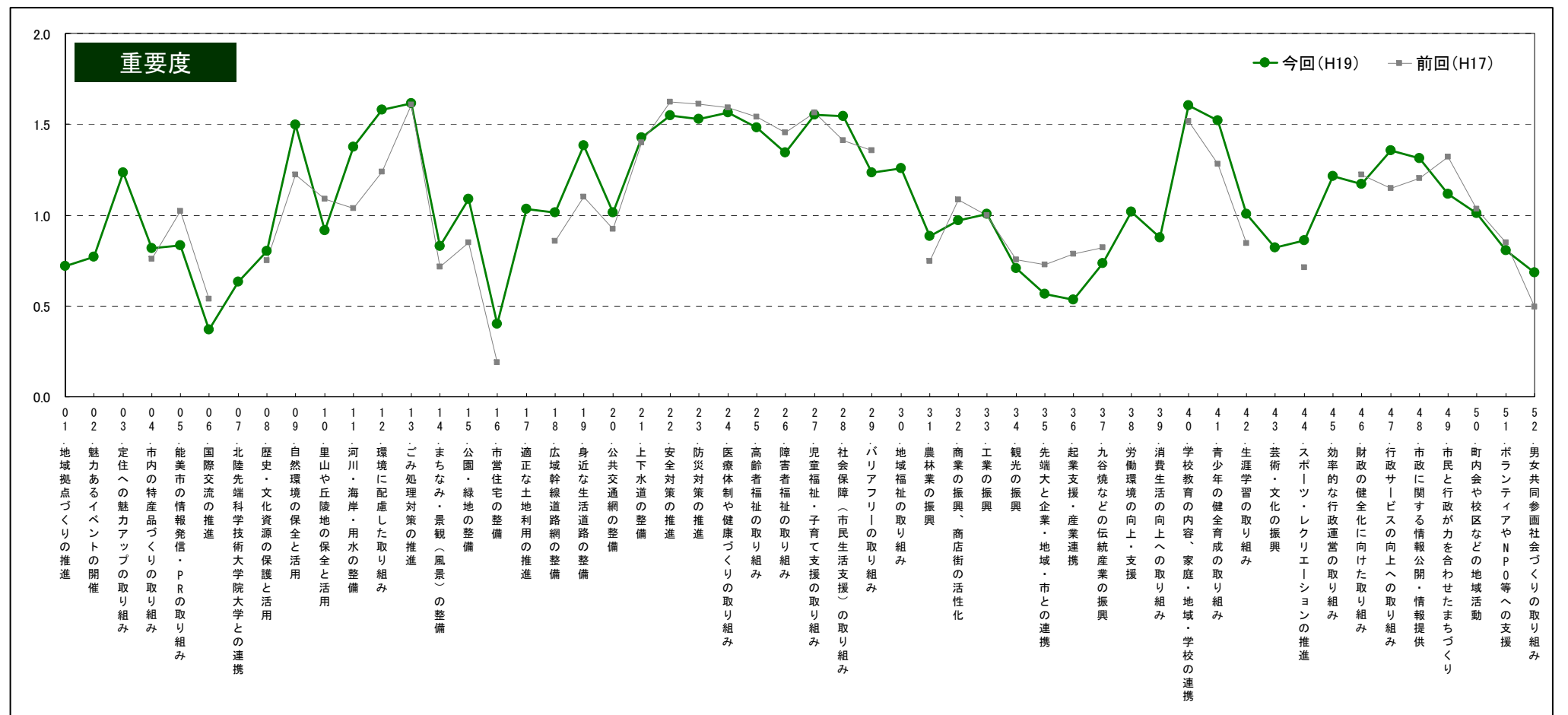
※満足度は、「満足」＋2点、「まあ満足」＋1点、「わからない」0点、「やや不満」－1点、「不満」－2点とした加重平均値（0を上回ると概ね満足、0を下回ると不満の声が多いものと判断できます。）



○重要度

- ・重要度については、すべての項目で0を上回っています。中でも、自然環境の保全・活用や環境への配慮、ごみ処理対策、安全・防災対策、医療・健康・福祉、学校教育、青少年の健全育成、市民サービスの向上等のポイントが高くなっており、多くの市民から重要視されていると言えます。
- ・前回調査に比べて重要度が高まっている主な項目は、「自然環境の保全と活用」「河川・海岸・用水の整備」「環境に配慮した取り組み」「公園・緑地の整備」「広域幹線道路網の整備」「身近な生活道路の整備」「社会保障（市民生活支援）」「農林業の振興」「学校教育の内容、家庭・地域・学校の連携」「青少年の健全育成」「生涯学習の取り組み」「行政サービスの向上」「市政に関する情報公開・情報提供」「男女共同参画社会づくり」などが挙げられます。

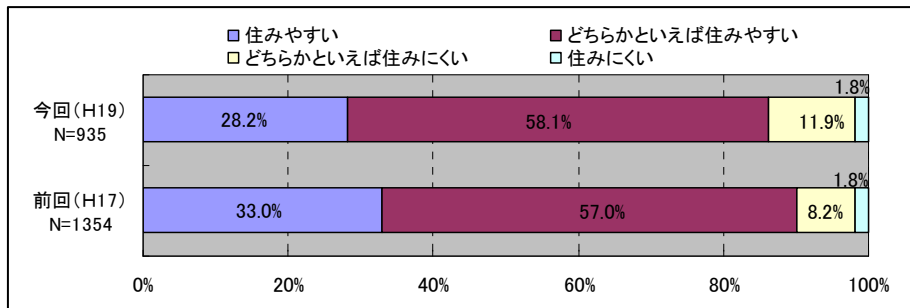
※重要度は、「重要」＋2点、「まあ重要」＋1点、「あまり重要でない」－1点、「重要でない」－2点とした加重平均値（0を上回ると重要度が大きく、0を下回るとあまり重視されていないと判断できます。）



4. 能美市の住みやすさ・定住意向について

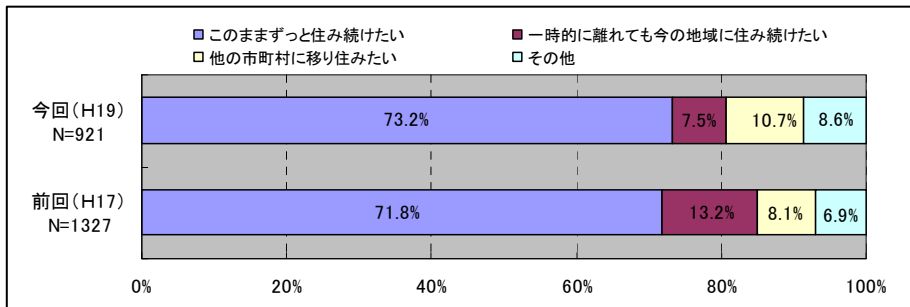
○住みやすさ

- ・「住みやすい」28%、「どちらかといえば住みやすい」58%であり、約9割の回答者が能美市は住みやすいところであると評価しています。



○定住意向

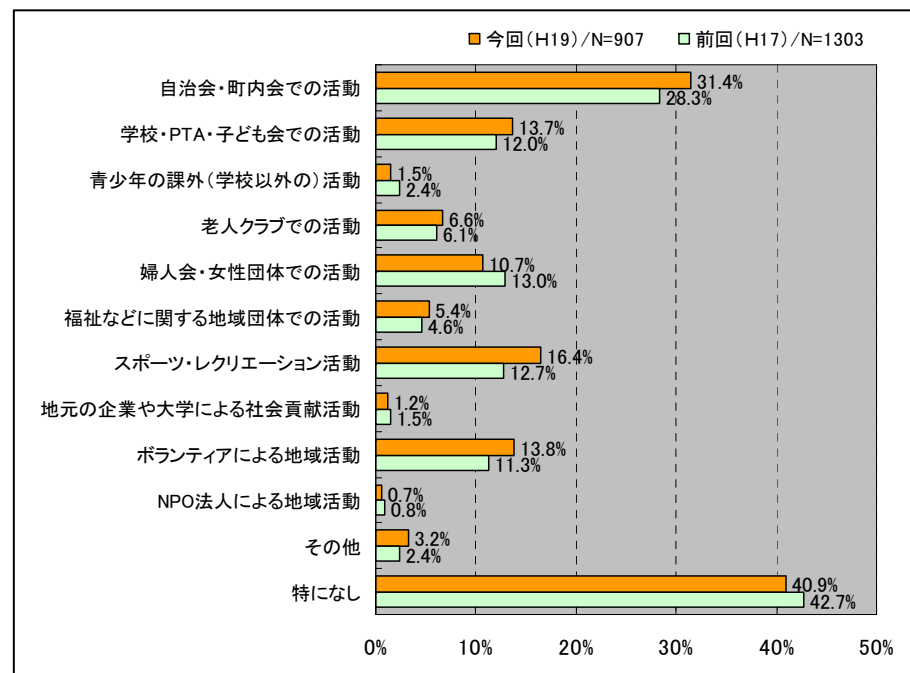
- ・「このままずっと住み続けたい」73%、「一時的に離れても今の地域に住み続けたい」8%であり、約8割の回答者が市内に住み続けたいと回答しています。



5. 地域活動および市民と行政の協働について

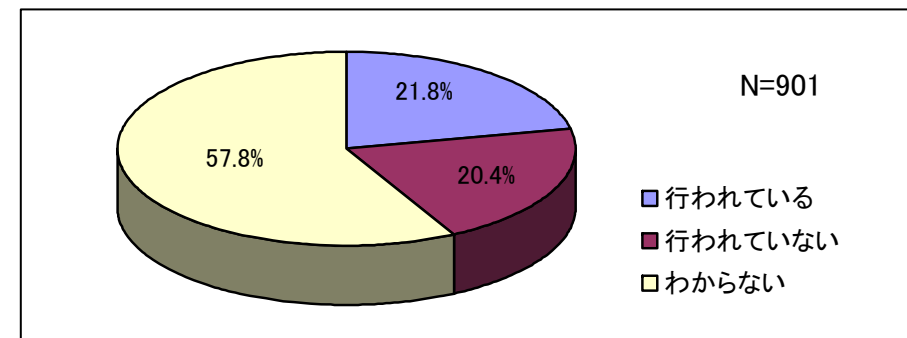
○地域活動への参加

- ・「特になし」41%に対し、約6割の回答者が何らかの地域活動に参加しています（「自治会・町内会での活動」が前回に比べて3ポイント増）。



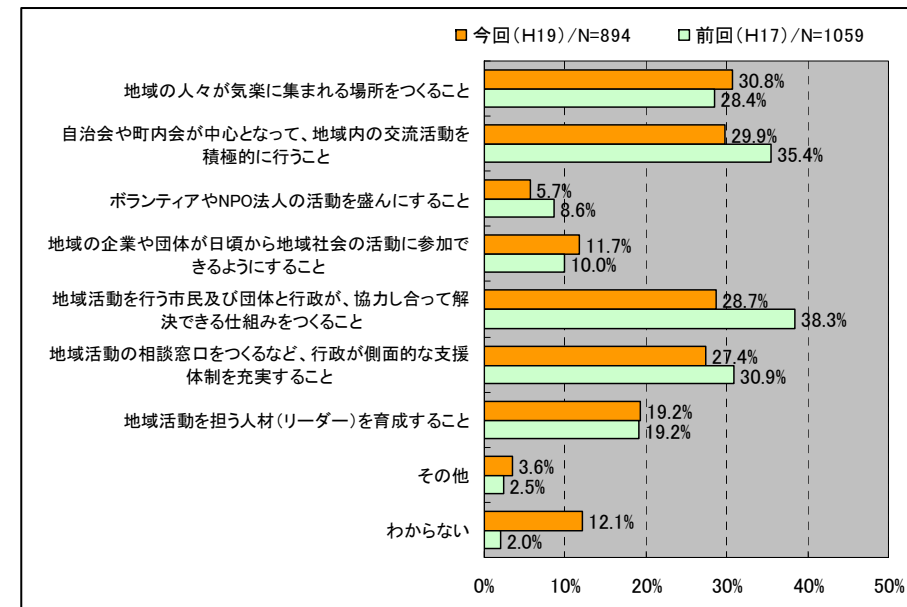
○協働の有無

- ・「わからない」との回答が58%と過半数を占めており、協働の取り組みがあまり認知されていないことがうかがえます。



○協働体制構築のために必要なこと

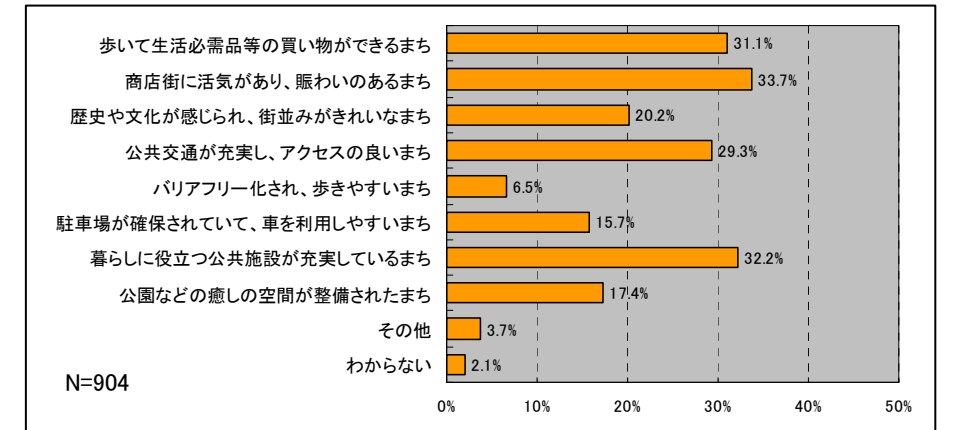
- ・「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくること」が31%と最も多く、次いで「自治会や町内会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行うこと」30%、「地域活動を行う市民及び団体と行政が、協力し合って解決できる仕組みをつくること」29%、「地域活動の相談窓口をつくるなど、行政が側面的な支援体制を充実すること」27%となっており、交流の場の提供や既存団体等の活動促進、行政との協働が求められています。



6. 中心市街地のまちづくりについて

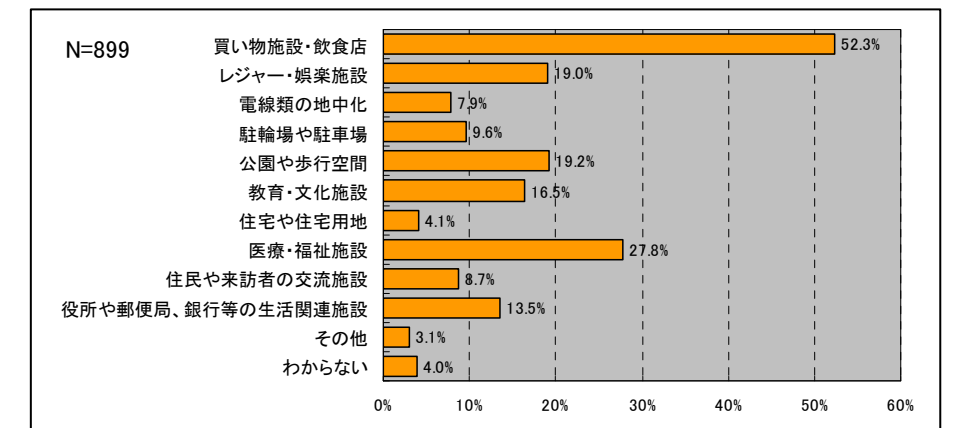
○中心市街地の将来像

- ・「商店街に活気があり、賑わいのあるまち」が34%と最も多く、次いで「暮らしに役立つ公共施設が充実しているまち」32%、「歩いて生活必需品等の買い物ができるまち」31%、「公共交通が充実し、アクセスの良いまち」29%となっています。
- ・一方、「駐車場が確保されていて、車を利用しやすいまち」は16%であり、中心市街地においてはマイカーの利便性よりも公共交通が充実している方が良いとする回答者が多くなっています。



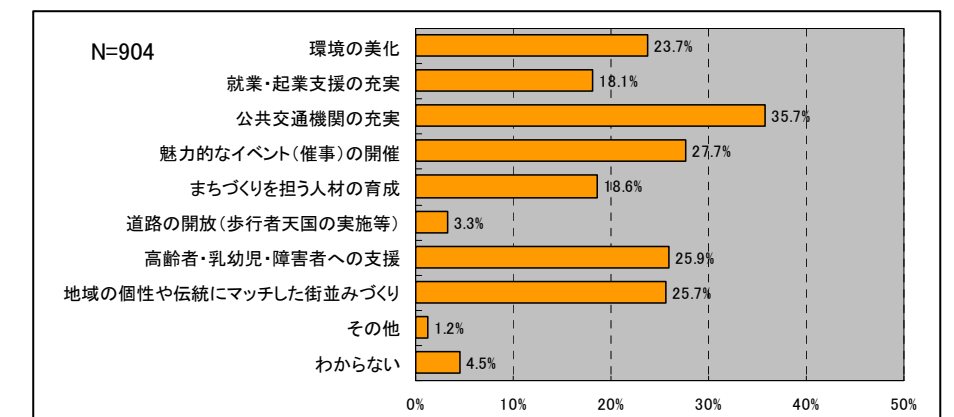
○中心市街地活性化に向けた整備・充実

- ・「買い物施設・飲食店」が52%と圧倒的に多くなっており、中心市街地が本来有する商業機能の強化が求められています。
- ・次いで、「医療・福祉施設」28%、「レジャー・娯楽施設」及び「公園や歩行空間」が各19%となっており、商業施設だけではなく医療・福祉施設や娯楽施設の充実による活性化が求められています。



○中心市街地活性化に向けたサービス・ソフト施策

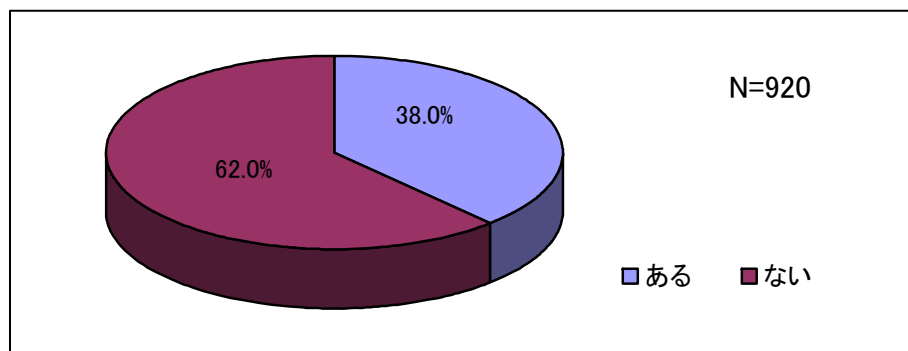
- ・「公共交通機関の充実」が36%と最も多く、マイカーがない人でも中心市街地にアクセスできる環境の整備が求められています。
- ・次いで、「魅力的なイベント(催事)の開催」28%、「高齢者・乳幼児・障害者への支援」及び「地域の個性や伝統にマッチした街並みづくり」が各26%となっており、幅広い年代が楽しめるイベント開催や個性ある街並みづくりが必要との回答が多くなっています。



7. 今後のまちづくりについて

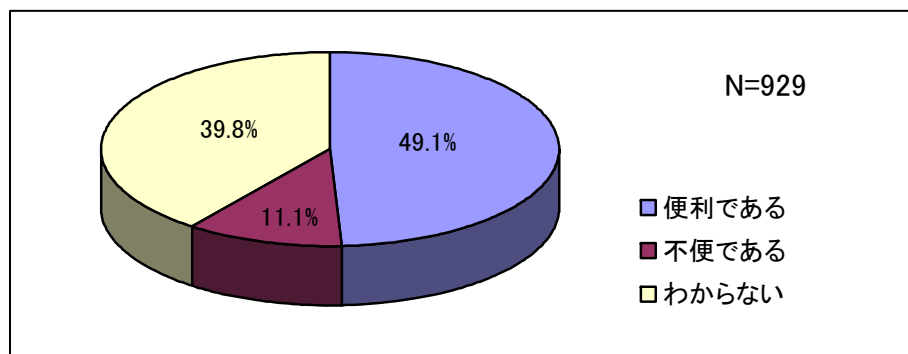
○合併後における日常生活の変化の有無

- ・ 市政施行後、日常生活において変化が「ない」との回答が 62%と過半数を占めている一方、変化が「ある」との回答が約4割みられます。



○現在の窓口サービス（分庁方式）に対する評価

- ・ 現在の分庁方式は「便利である」との回答が 49%であり、「不便である」11%を大きく上回っています。
- ・ 「わからない」との回答が約4割と多くなっています。



○市政やまちづくりに対する意見・要望

- ・ 966人中492人（51%）の回答者から寄せられたご意見・ご要望を記述内容で分類した結果、「魅力づくりの推進」「行政サービスの向上」「健全な財政運営」に関するものが上位を占めており、道路整備や公共交通、高齢者・児童福祉に関する記述も多くみられます。

【自由回答（意見・要望）の分類結果】

順位	分類名称	件数	割合
1	魅力づくりの推進	56	11.4%
2	行政サービスの向上	56	11.4%
3	健全な財政運営	49	10.0%
4	合併後の状況・旧町の一体化等	46	9.3%
5	能美市の全体的なあり方について	45	9.1%
6	道路の整備	41	8.3%
7	公共交通の充実	40	8.1%
8	効率的な行政運営	39	7.9%
9	商業の振興	34	6.9%
10	児童福祉の充実	33	6.7%
11	高齢者福祉の充実	27	5.5%
12	庁舎について	22	4.5%
13	情報社会・ユビキタス社会への対応	19	3.9%
14	協働型まちづくりの推進	17	3.5%
15	自然環境の保全と活用	13	2.6%
16	地域コミュニティ活動の支援	13	2.6%
17	能美市の情報発信・PR	11	2.2%
18	居住環境の充実	11	2.2%
19	防犯・交通安全の充実	11	2.2%
20	健康づくりの推進	10	2.0%
21	九谷焼の振興	10	2.0%
22	適正な土地利用の推進	9	1.8%
23	保健・医療・福祉の連携	9	1.8%
24	学校教育の充実	8	1.6%
25	循環型社会の形成	7	1.4%
26	下水道の整備	7	1.4%
27	水環境の保全と活用	6	1.2%
28	消防・防災体制の強化	6	1.2%
29	生涯学習の推進	6	1.2%
30	労働環境の向上・支援	5	1.0%
31	青少年の健全育成	5	1.0%
32	里山の保全と活用	4	0.8%
33	地域福祉の充実	4	0.8%
34	生涯スポーツの推進	4	0.8%
35	能美ブランドの創出	3	0.6%
36	北陸先端科学技術大学院大学との連携	3	0.6%
37	良好な景観の形成	3	0.6%
38	農業の振興	3	0.6%
39	工業の振興	3	0.6%
40	観光の振興	3	0.6%
41	芸術・文化の振興	3	0.6%
42	松井秀喜選手	2	0.4%
43	出会いの場づくり	2	0.4%
44	歴史・文化・伝統の継承	1	0.2%
45	障害者福祉の充実	1	0.2%
46	社会保障の充実	1	0.2%
47	バリアフリーの推進	1	0.2%
48	消費生活の向上	1	0.2%
49	男女共同参画社会づくりの推進	1	0.2%
50	国際交流の推進(他都市との交流含む)	0	0.0%
51	水道の整備	0	0.0%
52	浸水・排水対策の推進	0	0.0%
53	林業の振興	0	0.0%
54	起業支援・産学官連携の推進	0	0.0%
-	その他	32	6.5%
-	合計件数	746	151.6%
-	回答者数	492	100.0%